

船舶事故調査報告書

平成26年1月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成25年5月30日 06時00分ごろ
発生場所	大分県佐伯市松浦漁港 佐伯市所在の松浦港地松浦防波堤灯台から真方位184° 230m 付近 (概位 北緯32° 57.0′ 東経131° 57.4′)
事故調査の経過	平成25年6月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{せいりょう} 政漁丸、19トン OT2-2277（漁船登録番号）、個人所有 17.83m (Lr) × 4.43m × 1.97m、FRP ディーゼル機関、368kW（動力漁船登録票による）、昭和60年 2月19日
乗組員等に関する情報	船長 男性 67歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年12月6日 免許証交付日 平成21年7月10日 (平成27年3月14日まで有効) 甲板員A 男性 47歳
死傷者等	死亡 1人（甲板員A）
損傷	なし
事故の経過	本船は、中型まき網船団の運搬船であり、佐伯湾内での漁を終えて船長及び甲板員Aほか6人が乗り組み、平成25年5月30日05時30分ごろ松浦漁港に入港し、公設水産地方卸売市場岸壁において、主な漁獲物のカタクチイワシの水揚げを実施中であった。 船長は、岸壁に右舷着けした本船の操舵室の右舷で水揚げ用鋼製デリックを上下させるデリックワイヤロープ及びタモ網の引上げロープの調整を行い、本船の魚倉付近で2人の乗組員がタモ網で漁獲物をすくい取り、岸壁上の漁獲物タンク付近で2人の乗組員がタモ網から同タンクに漁獲物を入れ、2人の乗組員が同タンクの前後で漁獲物のうち、カタクチイワシ以外のサバ、イカなどをトロ箱に選別していた。

	<p>甲板員Aは、岸壁上で漁獲物を入れたタモ網を受け取り、漁獲物タンクに入れる作業を行っていた。</p> <p>本船では、06時00分ごろ、漁獲物を入れたタモ網を吊り上げていたデリックを船首から船尾方に約45°右舷側に振り出しており、デリックワイヤロープで吊り下げて固定し、デリックの水平面からの角度を約50°にしていたとき、デリックワイヤロープがデリック根本の巻き込みローラーの所で切れ、デリックが甲板員Aの背中に落下し、甲板員Aがデリックと漁獲物タンクの間にはさまれた。</p> <p>甲板員Aは自力でデリックをのけ、船尾方に数歩歩いて倒れた。</p> <p>船長は、直ちに甲板員Aに駆け寄り、苦しむ様子を見て救急車を手配した。</p> <p>甲板員Aは、搬送先の病院で肝臓破裂による出血性ショックで死亡と確認された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期</p>
その他の事項	<p>本船は、船体中央部に操舵室があり、操舵室右舷側でデリックワイヤロープ及びタモ網の引上げロープを油圧ローラーで巻き上げ、巻き下げる調整ができた。</p> <p>船長は、デリックワイヤロープに錆を発見していたので、1週間ほど前に地元の鉄工所に交換品を注文しており、近日中に交換する予定であった。</p> <p>デリック落下を防止するための補助ロープが準備されていたが、使用されていなかった。</p> <p>甲板員Aは、作業服上着に胸当て付き合羽ズボンを、ゴム手袋及びゴム長靴をそれぞれ着用していたが、救命胴衣は脱いでいた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>甲板員Aは、肝臓破裂による出血性ショックで死亡した。</p> <p>本船は、松浦漁港の水揚げ岸壁において、漁獲物の水揚げ作業中、岸壁上で漁獲物タンクに入れる作業に従事していた甲板員Aが、デリックを吊り下げていたデリックワイヤロープが切断したことから、落下したデリックと同タンクの間にはさまれ死亡したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、松浦漁港の水揚げ岸壁において、漁獲物の水揚げ作業中、岸壁上で漁獲物タンクに入れる作業に従事していた甲板員Aが、デリックを吊り下げていたデリックワイヤロープが切断したため、落下したデリックと同タンクの間にはさまれたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え</p>

	<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none">・デリックを水平面からの角度を固定して使用する場合、デリックの落下防止用のため、補助ロープをデリック中間のU字金具と操舵室上部柵の間に取り付けること。
--	---